

全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト(気仙沼地区部会)

事業実施者：気仙沼漁業協同組合

使用船舶名：第三太喜丸(199トン)

支援期間：平成24年9月1日～平成27年8月31日

(さんま棒受網漁業・かじき流し網漁業)

(取組の内容)

- 燃油消費量削減：大型バルバスバウ、大口径低回転固定ピッチ、低燃費型主機関、電子制御付減速機、LED漁灯の導入等により燃油消費量を削減
- 省エネ・労働環境安全性：氷揚機による省力化、FRP容器による保冷水揚げ、ILO準拠による居住環境の改善
- 漁獲物の高付加価値化：海水滅菌装置、冷水倉及びシャーベット氷製造装置の導入、船上発泡箱詰による高鮮度製品の供給
- 販売体制の構築：気仙沼⇄長崎それぞれに漁獲物を陸送し販路を拡大
- 地域社会への働きかけ：船内見学、メディア、学術機関との連携などによる水産業への理解度・認知度の向上



(事業の成果)

- **燃油消費量(3年平均894kl)は、計画(935kl)に比して約4%(41kl)の削減であった。**
- **海水滅菌装置やシャーベット氷製造装置の導入等により、水揚製品の衛生管理の向上と鮮度保持が図られ、さんまの平均単価(1期目80円/kg、2期目174円/kg、3期目120円/kg)は、いずれも計画(65円/kg)を上回った。**
- **気仙沼漁港から長崎魚市への陸送体制を構築し、長崎県での生鮮さんまの販路開拓を進めている。**
- **2年目以降の償却前利益(23百万円、2年平均)は計画を達成した。**